

COMPANY PROFILE

2023

領 | 設
域 | 計

2	STATEMENT
3	COMPANY PROFILE
4	MEMBER
5	PROJECTS
26	LIST

社会を支える風景をデザインする

私たちを取りまく環境や空間は、
そこに人の姿が加わることで初めて「風景」となります。

まちに暮らす楽しさを感じられる風景

人とともにある喜びを共有できる風景

ひとりひとりが自分の居場所を見つけられる風景

そうした風景こそ、ひとびとの暮らしを支え、

社会を支える基盤となります。

私たち設計領域は様々な領域をこえ、

デザインの力で、社会を支える風景をつくっていきます。



COMPANY PROFILE

会社名	株式会社 設計領域
代表者	代表取締役 新堀 大祐 代表取締役 吉谷 崇
登録	一級建築士事務所 東京都知事登録 (第55931号) 建設コンサルタント登録 (建27第10218号)
所在地	〒107-0062 東京都港区南青山3-4-7 第7SYビル6階
TEL	03-5413-3740
FAX	03-5413-3741
WEB	www.s-sr.jp
設立年月日	2009年5月1日
資本金	1,000万円
業務内容	1. 土木、建築、造園に関わる設計及び監理 2. 地域、都市計画に関する調査、研究及び計画立案 3. 都市デザイン、景観設計に関する調査、研究及び計画立案 4. インテリア、家具の企画、設計及び販売 5. 公園遊具、路上施設等の企画、設計及び販売 6. 広告、宣伝に関わる企画、編集及び制作 7. イベント等の企画及び運営 8. 前各号に付帯する一切の事業



〒107-0062 東京都港区南青山3-4-7 第7SYビル6階

地下鉄外苑前駅1a出口より徒歩7分／地下鉄表参道駅A4出口より徒歩8分

MEMBER



新堀 大祐 Daisuke SHIMBORI

代表取締役 / 一級建築士

1976年 神奈川県横浜市生まれ
2000年 東京大学工学部土木工学科卒業
2002年 東京大学大学院工学系研究科社会基盤工学専攻修了
2002～2008年 株式会社ワークヴィジョンズ勤務
2009年 株式会社設計領域設立
2010年～ 青梅市 まちづくり・デザイン専門家
2012年～ エンジニア・アーキテクト協会WEB機関誌編集長
2014年～ 日本大学理工学部 非常勤講師



今村 雄紀

Yuki IMAMURA

主任 / 一級建築士



内海 友博

Tomohiro UCHIKAI

主任 / 一級建築士



吉崎 航

Wataru YOSHIZAKI



吉谷 崇 Takashi YOSHITANI

代表取締役 / 技術士(建設部門)

1978年 兵庫県西宮市生まれ
2000年 東京大学工学部土木工学科卒業
2002年 東京大学大学院工学系研究科社会基盤工学専攻修了
2002～2008年 有限会社小野寺康都市設計事務所勤務
2009年 株式会社設計領域設立
2012年～ 渋谷区景観アドバイザー
2017年～ 早稲田大学理工学部 非常勤講師



小林 美悠子

Miyuko KOBAYASHI

広報・事務 / 二級建築士



山田 幸長

Yukinaga YAMADA



大西 加那子

Kanako ONISHI

PROJECTS

- 6 長崎駅(新幹線・在来線)
- 8 長崎駅前広場(西口広場、東口広場)
- 9 長崎駅舎・駅前広場等デザイン基本計画
- 10 道の駅伊豆月ヶ瀬
- 12 松山市花園町通り
- 14 松山アーバンデザインセンター
- 15 富士山本宮浅間大社神田川ふれあい広場
- 16 修善寺温泉エリアまちづくり
- 17 修善寺駅前北広場
- 18 明智駅前広場・交流施設、浪漫邸前広場
- 19 丹生川ダム左岸天端広場
- 20 尾鷲コーポラティブフォレスト計画
- 21 飯田市リニア長野駅周辺整備
- 22 岩戸の家
- 23 三戸浜の家
- 24 土木展 人孔(ひとあな)
- 25 東京2050//12の都市ヴィジョン展

長崎駅(新幹線・在来線)

2022

大屋根が風景をおおらかに包む「海に向かう頭端駅」

デザイン基本計画に基づき設計が進められた長崎駅舎(新幹線・在来線)について、デザイン監修を行った。駅舎の大きなコンセプトである在幹一体の空間構成や海に向かって3次元的に変化する2柱式の膜屋根、東西軸を形成するラチ外コンコースなどの実現に向け、ディテールや素材選定等について検討・調整を重ねた。駅前広場や駅ビルといった周辺整備との調整や夜景に配慮した照明デザイン、ホームの温熱環境シミュレーションなどにも取り組み、国際観光都市長崎の玄関に相応しい駅空間を目指した。

所在地 : 長崎県長崎市

事業主体 : 鉄道建設・運輸施設整備支援機構、九州旅客鉄道

竣工 : 2022.9

基本デザイン・デザイン監修: 設計領域

共同 : 川村宣元建築設計事務所、都市環境研究所、KAP、
フォーライツ、羽藤英二(東京大学)、石原 孟(東京大学)

設計(新幹線) : 鉄道建設・運輸施設整備支援機構、安井建築設計事務所

設計(在来線) : 安井建築設計事務所

駅 街路 広場 河川・ダム 建築 インテリア

まちづくり コンペ・プロポーザル その他



提供: JR TT 鉄道・運輸機構



提供: JR TT 鉄道・運輸機構



提供：JR TT 鉄道・運輸機構



提供：JR TT 鉄道・運輸機構



長崎駅前広場（西口広場、東口広場）

in progress

長崎らしい文化と活動をまちへつなぐ「はじまりの広場」

九州新幹線西九州ルートの開通に合わせた、駅前広場や多目的広場、駅舎キャノピー、周辺街路等の一体的な基本設計および実施設計。駅舎を東西に貫くプロムナード空間「東西軸」を骨格としたひと連なりの広場群とともに、駅からまちへ、活動と賑わいがつながっていく。MICE施設や駅ビル、高架下施設など、広場に面する施設との細やかなデザイン調整により、領域を越えたトータルな空間づくりを進めた。

在来線開業とともに先行して開業した西口広場では、エリアをつなぐ伸びやかな空間をオリジナルのコンクリートブロックや煉瓦によって構成し、素材感豊かなベンチやファニチャーを配置。駅利用者の新たな居場所となるとともに、すでに多くの地域のイベントが行われるなど賑わいを見せている。東口も含めた広場の全面開業は令和7年度を予定。

所在地：長崎県長崎市

事業主体：長崎市

（駅前広場等基本設計） 共同：オリエンタルコンサルタンツ、イー・エー・ユー、NEY & PARTNERS JAPAN、復建調査設計、都市環境研究所、ハートビートプラン、スペースシンタックス・ジャパン、川村宣元建築設計事務所、KAP、フォーライツ、扇精光コンサルタンツ、羽藤 英二（東京大学）

（西口広場実施設計） 竣工：2021.11
共同：オリエンタルコンサルタンツ、イー・エー・ユー、NEY & PARTNERS JAPAN

（駅舎西口キャノピー） 竣工：2020.11
共同：木戸設計、KAP、フォーライツ

（東口広場実施設計） 竣工：2025（予定）
共同：パシフィックコンサルタンツ、フォーライツ

（駅舎東口キャノピー） 竣工：2023.8
共同：KAP、フォーライツ、Infras

● 駅 ○ 街路 ● 広場 ○ 河川・ダム ● 建築 ○ インテリア

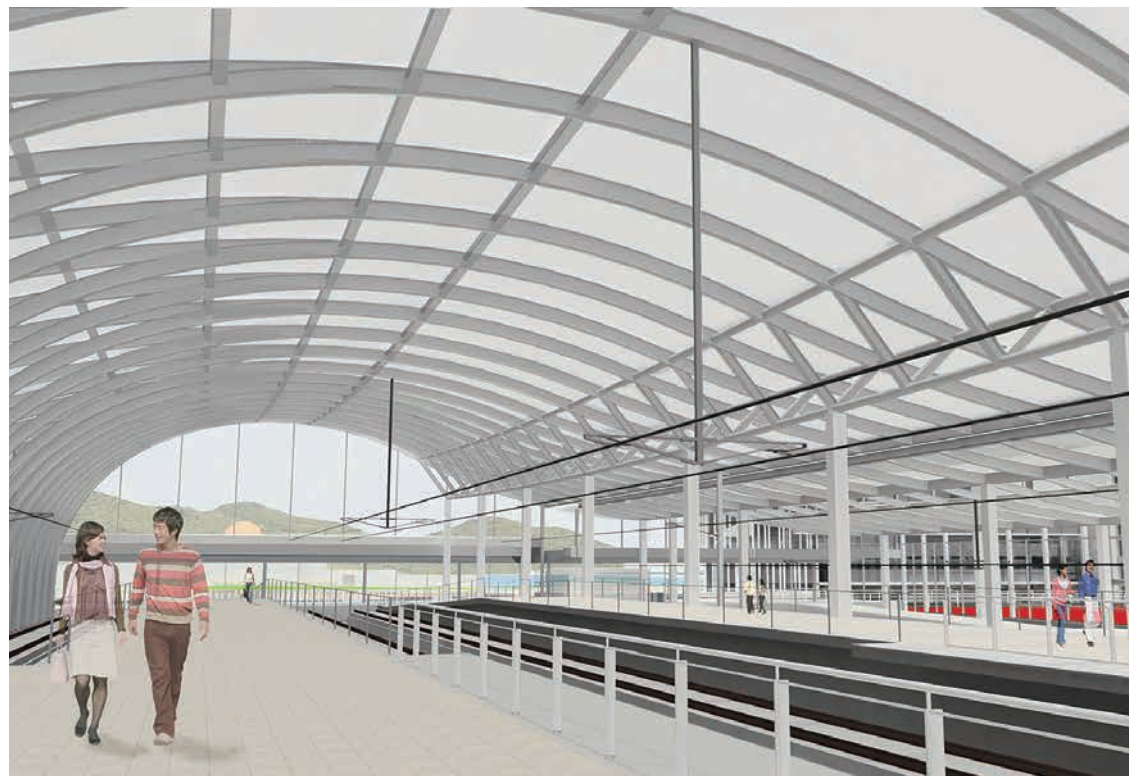
○ まちづくり ○ コンペ・プロポーザル ○ その他



長崎駅舎・駅前広場等デザイン基本計画

2016

九州新幹線西九州ルートの開業に伴い新しく整備される長崎駅舎および駅前広場の基本デザイン検討。長崎の円形劇場の焦点に位置する駅および駅周辺を都市イメージの核としてつくりあげるべく、立地特性や都市デザインのあり方を踏まえた検討が進められた。世界でも類をみない港に面した頭端駅の特徴を活かすことに主眼を置き、大きなホーム空間を創出する特徴的な大屋根や駅周辺の大骨格となる象徴的な東西軸など、長崎らしさを体現するデザインの考え方について、デザイン基本計画としてとりまとめた。



所在地 : 長崎県長崎市
事業主体 : 長崎県、長崎市
策定 : 2016.3
共同 : 川村宣元建築設計事務所、都市環境研究所、復建調査設計、
日本交通技術、KAP、フォーライツ、羽藤英二(東京大学)



- 駅 ○ 街路 ● 広場 ○ 河川・ダム ● 建築 ○ インテリア
○ まちづくり ○ コンペ・プロポーザル ○ その他

道の駅伊豆月ヶ瀬

2019

風景と暮らしをつくる道の駅

伊豆縦貫自動車道の南進による月ヶ瀬IC開通にあわせた新しい道の駅の地域振興施設。伊豆半島の中心に位置する立地特性や天城の山々、狩野川の清流といった地域の風景を建築とランドスケープ一体のデザインによって最大限に活かし、情報発信や地産地消の物販・飲食といった観光機能を備える施設とするとともに、地域の人たちが日常的に使えるコミュニティ拠点として整備した。設計段階において、施設の指定管理予定者と事業運営計画を踏まえた協議を行い、開業後の施設の使われ方まで含めた調整を行っている。

所在地 : 静岡県伊豆市
事業主体 : 伊豆市
竣工 : 2019.12
統括・マネジメント : 設計領域・都市環境研究所・昭和設計・ミクスド共同企業体
共同 : 構造 = KAP 設備 = Yamada Machinery Office
照明デザイン = CHIPS サインデザイン = 氏デザイン
水際デザイン = 吉村伸一流域計画室
受賞 : 2021年 静岡県景観賞優秀賞 (静岡県建築士事務所協会賞)

(地域振興施設) 構造 : 立面混構造 (1階 = 鉄筋コンクリート造、2階 = 鉄骨造、屋根 = 木造)
規模 : 敷地面積 = 7297.46m² 建築面積 = 659.21m²
テラス = 418.64m² 延床面積 = 990.29m²
施工 : 中豆・青木特定建設工事共同企業体

(水際公園) 規模 : 約4200m²
施工 : 今井建設

(広場・搬入路等) 規模 : 約2100m²
施工 : 中豆・青木特定建設工事共同企業体、今井建設

駅 街路 広場 河川・ダム 建築 インテリア
 まちづくり コンペ・プロポーザル その他





photo: Norihito Yamauchi

松山市花園町通り

2017

暮らしを育み、交流と賑わいを生む「街の庭」をもつ街路

松山市内最大の交通結節点である松山市駅から城山公園を結ぶシンボルストリートの空間改変。道路空間の再配分により、整備前には6車線あった車道を2車線まで減少して歩道を広げ、来訪者や地域住民の活動や滞留を受け止める「街の庭」をもつ通りとして再生した。正岡子規の生誕地でもあり、子規に詠まれた豊かな植栽が通りを彩る。自転車道、駐輪施設、側道などのモビリティ空間と、芝生広場、植栽、デッキ広場などの滞留空間が混ざり合う特徴的な街路構成は、7年間にわたる検討と沿道市民との対話のもとで実現。整備後は地域による催しも活発に行われ、日常・非日常を支える「歩いて暮らせるまち松山」を体現するストリートとなっている。



所在地 : 愛媛県松山市
事業主体 : 松山市
竣工 : 2017.9
規模 : 幅員約40m 延長約300m
共同 : ナグモデザイン事務所、復建調査設計、親和技術コンサルタント
受賞 : 2018年 グッドデザイン賞
2019年 土木学会デザイン賞 最優秀賞
2019年 全国街路事業コンクール国土交通大臣賞

- 駅 街路 広場 河川・ダム 建築 インテリア
 まちづくり コンペ・プロポーザル その他





photo: Norihito Yamauchi

松山アーバンデザインセンター

2019

松山アーバンデザインセンター(UDCM)の花園町通りへの移転に伴う内装デザイン。元々駐車場だった旗竿形状の対象地に対し、敷地奥へと抜ける「路地」に見立てた共用スペースを挿入し、誰でも立ち寄ることができるギャラリーとした。展示機能やベンチ、本棚などを備えたギャラリーを花園町通りと繋がった空間とすることで、人々がまちと関わるきっかけとなることを意図している。

所在地 : 愛媛県松山市
事業主体 : 松山市
竣工 : 2019.1
規模 : 床面積 = 168.00m²
基本設計・監理支援 : 設計領域
共同 : 間仕切家具デザイン=(株)ウィング
照明デザイン=CHIPS
施工=神野組

駅 街路 広場 河川・ダム 建築 インテリア
 まちづくり コンペ・プロポーザル その他



photo: Shuhei Miyahata

富士山本宮浅間大社神田川ふれあい広場

2016

富士をのぞみ老若男女の居場所となるまちの名所

世界文化遺産「富士山-信仰の対象と芸術の源泉」の構成資産である、富士山本宮浅間大社の境内広場の改修設計。富士山の湧水を引き込んだ親水池と、それを包み込む芝生の築山というシンプルな空間構成によって、訪れた人が自然と富士山に向き合い、富士宮の暮らしを支える水の恵みを感じられる空間として生まれ変わった。桜や樺などの既存樹木は丁寧に全て保全する計画とし、場所の記憶を継承。夜間は美しくライトアップされたこれらの樹木が水盤に写り込み、門前町らしい「色気」を醸し出す。

所在地：静岡県富士宮市

事業主体：富士宮市

竣工：2016.3

受賞：2017年グッドデザイン賞

2017年土木学会デザイン賞 奨励賞

2017年静岡県景観省優秀賞(静岡県建築住宅まちづくりセンター賞)

2017年まちなか広場賞特別賞

(神田川ふれあい広場) 規模：約4,800m²

共同：富士設計(株)、照明デザイン=CHIPS

(ふれあい広場シェルター) 構造：木造

規模：約40m²

共同：構造=KAP、照明デザイン=CHIPS

駅 街路 広場 河川・ダム 建築 インテリア

まちづくり コンペ・プロポーザル その他



photo: Norihito Yamauchi

修善寺温泉エリアまちづくり

in progress

そぞろ歩きと物語をつむぐ温泉エリアのまちづくり

伊豆最古の温泉と言われる修善寺温泉エリア全体の回遊性を高めるための公園改修設計、及びエリアデザイン計画。修善寺温泉の発祥とされる「独鈷の湯」をのぞむ「独鈷の湯公園」の川に面した立地を活かし、水面に張り出した川床デッキと新たな足湯を整備。人造大理石によってつくられた足湯カウンターは照明によって照らされ、温泉地の新しい回遊の拠点となっている。さらに桂川沿いの名所のひとつ「竹林の小径」のライトアップや、川沿い遊歩道のリニューアルなど、すでにまちにある魅力を磨きあげ、つなぐことで、温泉地の回遊性と物語性を向上する景観づくりを進めている。



共同：照明デザイン=CHIPS



- 駅
- 街路
- 広場
- 河川・ダム
- 建築
- インテリア
- まちづくり
- コンペ・プロポーザル
- その他

修善寺駅前北広場

2014

伊豆箱根鉄道修善寺駅の改修にあわせて新設された北口広場のデザイン。中心市街地に面した公共交通の結節点である既存の南口広場に対し、地域住民や温泉客のための待ち合い広場として計画された。前面道路との最大約4.0mの高低差を柔らかな緑地のマウンドで解消し、緩やかな歩行者スロープ動線が交通広場を包み込む。修善寺温泉への玄関口らしい竹林と、地場の天城杉を天井に用いた明るいシェルター、伊豆の豊かな自然を体現する多種多様な桜の植栽など、素材感豊かな空間が駅利用者を迎える。



所在地 : 静岡県伊豆市
事業主体 : 伊豆市
竣工 : 2014.5

(修善寺駅前北広場) 規模 : 約5,000m²
基本設計、実施設計 : 建設技術研究所
設計監修、デザイン監理 : 設計領域

(北広場シェルター) 構造 : 鉄骨造
規模 : 97.20m²
共同 : 構造 = KAP、施工 = 中豆建設

● 駅 ○ 街路 ● 広場 ○ 河川・ダム ● 建築 ○ インテリア
○ まちづくり ○ コンペ・プロポーザル ○ その他



photo: Shigeo Ogawa

明智駅前広場・交流施設、浪漫邸前広場

2011

日常的なコミュニティを支え、来訪者を迎える地域交流拠点

明知鉄道の終点である明智駅の駅前広場と飲食・待合機能を持つ交流施設、明智地域の主要施設である浪漫亭前広場の整備計画。駅周辺を「地域と人をつなぐ」エリアと捉え、人々が日常的に集う地域コミュニティの中核としてだけでなく、来訪者の玄関口としての「もてなしの空間」となることを意図している。複数の整備をトータルに検討することで、駅からまちなかへ人々を導く仕掛けなど、まちづくりを見据えた計画が可能となった。

所在地：岐阜県恵那市

事業主体：恵那市

竣工：2011.11

(明智駅前広場) 規模：約2,100m²
基本設計：設計領域
実施設計：興栄コンサルタント

(駅前交流施設) 構造：木造1階建て
規模：建築面積=99.34m² 延床面積=88.97m²
共同：構造=KAP、設備=成田賛久、Lapin建築設備工房
施工=板垣建設

(浪漫邸前広場) 規模：約4,000m²
基本設計：設計領域
実施設計：大日コンサルタント

駅 街路 広場 河川・ダム 建築 インテリア

まちづくり コンペ・プロポーザル その他



丹生川ダム左岸天端広場

2012

岐阜県荒城川流域に建設された多目的ダム・丹生川ダムの管理棟周辺広場設計、およびダム周辺の景観整備。単なるダム管理施設の外構整備にとどまらず、木木屋渓谷など周辺の景勝地へのアクセス起点であること、周辺の自然景観を楽しむ視点場を作り出すこと、かつてダム建設地に暮らしていた人々が集える場所となることが求められた。地形をやさしく包みこむ緑の芝生と、水面に向かって下げられたシンプルな空間構成によって、風景と人々をつなぎ、静かに佇むことができる場所づくりを目指した。



所在地 : 岐阜県高山市
事業主体 : 岐阜県
竣工 : 2012.5
規模 : 約2,600m²
共同 : クレアリア、川村宣元建築設計事務所
受賞 : 2013年 グッドデザイン賞
2014年 土木学会デザイン賞



- 駅 街路 広場 河川・ダム 建築 インテリア
 まちづくり コンペ・プロポーザル その他

photo: Shigeo Ogawa

尾鷲コーポラティブフォレスト

2011

国内有数の多雨地域である三重県尾鷲市、中でも三木里町は前面をリアス式海岸の賀田湾、背後を熊野古道の難所で知られた険しい山々に囲まれ、津波に対して極めて脆弱な地理的条件を有している。本プロジェクトは、激しい降雨に耐える尾鷲式作業道規格を開発・整備することにより持続的な地域集約型林業への途を拓くと同時に、人工林を地域の防災拠点として捉え整備したところに特徴がある。作業道によって臨海集落から高台山間部をつなぐ避難経路を補完し、災害時に物流拠点となる土場整備や、間伐材を用いた集会・備蓄小屋を地域住民のセルフビルドで建設することにより、津波に備えた「事前復興まちづくり」モデルとなる森づくりを実現した。



所在地 : 三重県尾鷲市
事業主体 : NPO法人ア・ピース・オブ・コスモス
竣工 : 2011.12
規模 : 作業道整備=約250m 円形土場開設=約300m²、450m² 休憩小屋=約15m²
共同 : 東京大学羽藤研究室
受賞 : 2012年 グッドデザイン賞

- 駅 街路 広場 河川・ダム 建築 インテリア
 まちづくり コンペ・プロポーザル その他



飯田市リニア長野駅周辺整備

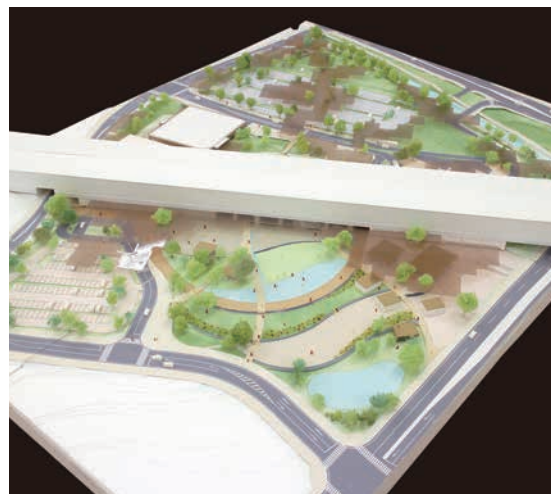
in progress

信州・伊那谷の風景と暮らしを柔らかに結ぶ「結いの広場」

リニア中央新幹線の長野県駅が立地する飯田市座光寺地区における、6.5haにおよぶ駅前広場の基本設計、および実施設計。天竜川の河岸段丘である信州伊那谷の地形的特徴や、用水など地域の営みの歴史を広場計画に取り込むとともに、森林県である長野のシンボルとなる木造の大屋根が広場を覆う計画。次世代モビリティなどの新しい技術や、地域の民間活力導入による施設整備まで、地域住民とワークショップにおいて議論を重ね、エリア全体のデザイン指針となる「飯田・リニア駅前空間デザインノート」として取りまとめた。人々と風景、暮らし、地域、時をつなぐ「結いの広場」の実現を目指す。



所在地：長野県飯田市
事業主体：飯田市
共同：中央コンサルタンツ、三菱地所設計



- 駅
- 街路
- 広場
- 河川・ダム
- 建築
- インテリア
- まちづくり
- コンペ・プロポーザル
- その他

岩戸の家

2021

自立した家族の暮らしを緩やかにつなぐ「通り土間」のある家

50代の夫婦と成人した子供二人のための住宅。来客や趣味のための大きな土間スペースとそれぞれ異なる生活ベースを支える4つの完全な個室が求められた。東西を道路に挟まれた敷地条件から、吹き抜けの「通り土間」が建物を貫き、個室と水廻りがそれに面する構成とした。通り土間と一体となった居間・食事は土間の質感とハイサイドライトからの光によって半屋外のような雰囲気になり、各個室には吹き抜けを介して緩やかな繋がりが生まれている。



所在地 : 東京都狛江市

事業主体 : 個人

竣工 : 2021.5

構造 : 木造2階建て

規模 : 敷地面積 = 137.75m² 建築面積 = 73.44m² 延床面積 = 125.20m²

共同 : 構造 = 杉本将基構造設計事務所

設備 = Lapin建築設備工房

照明デザイン = CHIPS

施工 = 坂上工務店

駅 街路 広場 河川・ダム 建築 インテリア

まちづくり コンペ・プロポーザル その他



photo: Norihito Yamauchi

三戸浜の家

2016

家族のつながりと趣味を両立する「ガレージリビング」の家

30代の若い夫婦が家族との時間を大切にするため、あえて都心部から離れた海に程近い土地を求めて建てられた住宅。家族の気配がどこにいてもわかること、生活の変化に対応できるつくりとすること、予算の制約などから単純な筒型の一室空間とし、南に面した吹き抜けの土間は家族が集まる居間と趣味用のガレージを兼ねている。構造躯体に重点を置き、仕上げや付加的な設えを最低限にすることで、将来にわたって住み手が関与できる余地のある住宅を目指した。耐震要素として750mm幅の袖壁を1間ピッチに配置し、その間に可動棚やクローゼットを設置。それによる大きな壁面収納がこの家の特徴となっている。



所在地 : 神奈川県三浦市

事業主体 : 個人

竣工 : 2016.9

構造 : 木造2階建て

規模 : 敷地面積 = 211.04m² 建築面積 = 75.95m² 延床面積 = 115.75m²

共同 : 構造 = KAP

設備 = Yamada Machinery Office

照明デザイン = CHIPS

施工 = 田村工務店

駅 街路 広場 河川・ダム 建築 インテリア

まちづくり コンペ・プロポーザル その他

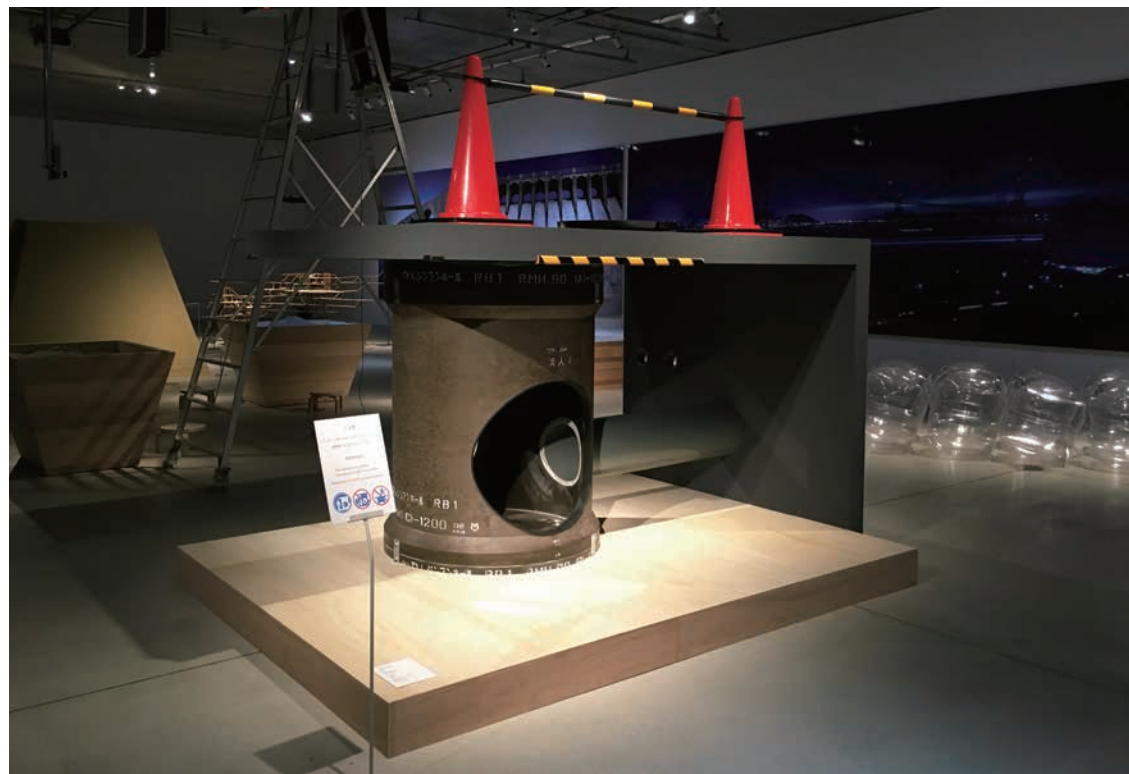


photo: Shigeo Ogawa

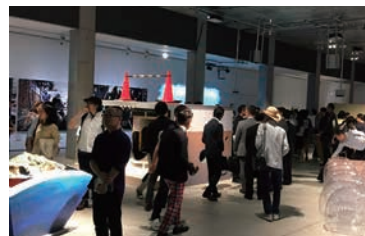
土木展『人孔(ひとあな)』

2016

21_21 DESIGN SIGHTで開催された「土木展」への出展作品。街中に無数にあるが、普段はあまり意識されないマンホール。その中に実際に入ってみて道路に顔を出すという体験を通じて、人々の生活を支える「土木」をより身近に感じてもらうことを意図している。作品にはメーカーの協力を得て、本物のマンホールやアスファルト舗装を使用している。



会期 : 2016.6.24~2016.9.25
会場 : 21_21 DESIGN SIGHT
制作協力 : 日之出水道機器株式会社、株式会社 NIPPO



- 駅 街路 広場 河川・ダム 建築 インテリア
 まちづくり コンペ・プロポーザル その他

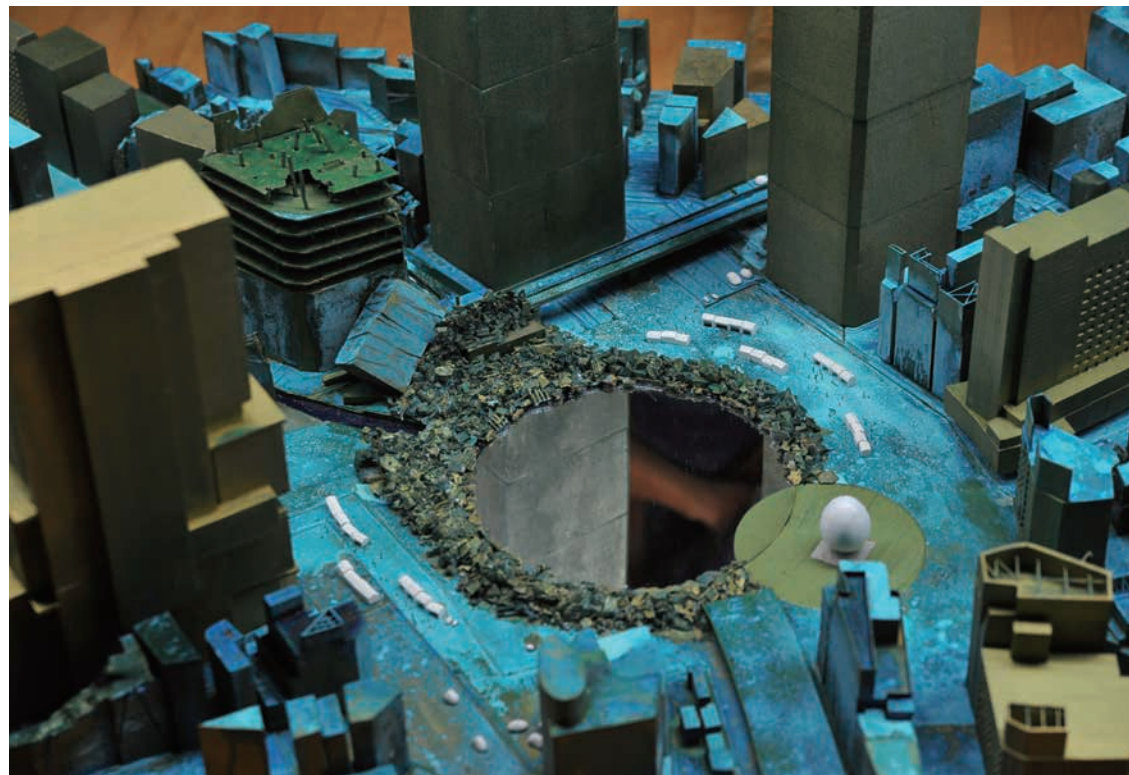
東京2050//12の都市ヴィジョン展

2011

「東日本大震災に直面した後それでも尚、東京の未来を描くにあたって、足し算ではなく引き算で考えたいと思った。近代が想定してきた自己にもたらされる経済発展、続いていく確かな未来、こうしたものをすべて喪失させる東京大災害2050を想定し、すべてを喪失した渋谷が、いかにして再生を果たすのか、その思考のプロセスの中で新しい都市のArchitectureを構想した。」（展示パネルより抜粋）

会期：2011.9.24～10.2
会場：丸ビルホール
共同：東京大学羽藤研究室

- 駅
- 街路
- 広場
- 河川・ダム
- 建築
- インテリア
- まちづくり
- コンペ・プロポーザル
- その他



COMPETITION, PROPOSAL

- 2021 国道202号歩道橋設計等業務プロポーザル 最優秀 (パシフィックコンサルタンツと共同応募)
- 2020 長崎駅東口駅前広場実施設計等業務プロポーザル 最優秀 (パシフィックコンサルタンツと共同応募)
- 2020 長崎駅舎東口キャノピー等建設基本・実施設計業務プロポーザル 最優秀
- 2017 飯田市リニア駅周辺整備基本設計業務プロポーザル 最優秀 (中央コンサルタンツ・三菱地所設計と共同応募)
- 2017 佐賀駅周辺整備基本計画策定プロポーザル 最優秀 (大日本コンサルタントと共同応募)
- 2017 伊豆市道の駅実施設計業務プロポーザル 最優秀
- 2016 長崎駅前広場等設計業務プロポーザル 最優秀 (オリエンタルコンサルタンツ他と共同応募)
- 2016 伊豆市道の駅基本計画策定及び基本設計業務プロポーザル 最優秀
- 2014 長崎駅舎・駅前広場等デザイン基本計画作成業務プロポーザル 最優秀
- 2014 浜寺公園駅駅舎及び駅前交通広場等計画提案競技 入選 (6案選出) (都市環境研究所と共同応募)
- 2013 市道花園町線道路景観設計業務プロポーザル 最優秀
- 2013 松山市駅前広場空間改変基本設計業務プロポーザル 最優秀
- 2012 市道花園町線道路空間再配分・活用調査検討業務プロポーザル 最優秀

EXHIBITION, LECTURE

- 2021 長崎駅周辺整備事業連続シンポジウム「長崎駅周辺整備事業のこれまでとこれから」第3回「利活用の推進に向けたエリマネ体制の構築とデザイン調整の継続」
- 2021 長崎駅周辺整備事業連続シンポジウム「長崎駅周辺整備事業のこれまでとこれから」第2回「ビジョンの実現に向けたデザインの実践」
- 2021 長崎駅周辺整備事業連続シンポジウム「長崎駅周辺整備事業のこれまでとこれから」第1回「体制の構築とビジョンの策定」
- 2021 第3回鳥取県MaaSセミナー<交通とまちづくり>「米子の都市構造のポテンシャル」
- 2021 東京大学五月祭「ドボクとぼくの街」公開座談会「都市を作る人は、今」
- 2021 皆生温泉の未来を考えるシンポジウム「100年前から最先端！皆生温泉のまちづくり」
- 2021 松山アーバンデザインセンターurban design week. アーバンデザイン・トークテラス「#02 街路のデザイン」
- 2021 土木学会デザイン賞20周年記念 Talk sessions「土木発・デザイン実践の現場から」第13回 社会に貢献するデザインのつくり方・選び方
- 2021 草薙駅南口周辺まちづくりセミナー「まちの『余白』をつくる」
- 2021 松山アーバンデザインセンター
アーバンデザイン・スマートシテスクール／都市展示記念フォーラム「松山にアーバンテラスをつくる」
- 2021 松山アーバンデザインセンター「松山の都市計画 -COVID-19時代のまちづくり-」
- 2021 神楽坂景観塾 02

- 2021 GA SCHOOL プレゼンテーション展 + ギャラリートーク
- 2021 新しい建築の楽しさ2017展 + デザインフォーラム
- 2021 東京大学五月祭 社会基盤学科公開座談会「都市の未来II」
- 2021 リノベーションまちづくりサミット「松山市・花園町通り「道路」から街の庭へ」
- 2021 東京・京橋発 働き方改革2017
- 2021 土木学会景観デザイン発表会 テクニカルディスカッション「花園町通りのデザイン 2011～2016」
- 2021 松山アーバンデザインセンターアーバンデザイン研究会「都市空間をつくり育てる～空き地・空き家の再生と活用～」
- 2021 東京大学五月祭 社会基盤学科公開座談会「都市の未来」
- 2021 「土木展」@21_21 DESIGN SIGHT
- 2021 東京大学工学部 風景づくり夏の学校「街路デザインから考える」
- 2021 横浜市都市デザイン室「第10回 都市デザイン研究会 | 土木のデザイン」
- 2021 エンジニア・アーキテクト協会 トークライブvol.1「re-edit 遅い交通がまちを変える」
- 2021 東京2050//12の都市ヴィジョン展 (東京大学羽藤研究室と共同)
- 2021 土木計画学研究発表会「地域と人をつなぐ明知鉄道駅と駅前広場のデザイン提案」

MEDIA

- 2023 新建築 2023年5月号「長崎駅 (新幹線・在来線)」
- 2023 テレビ朝日系列「渡辺篤史の建もの探訪 (岩戸の家)」
- 2022 日経アーキテクチュア No.1228「新・長崎駅的全貌」
- 2022 家とまちなみNo.86「上海オールドストリートにみる暮らしの『奥行き』」
- 2022 日経クロステック「世界初の論文、「街路を歩道化すると沿道店舗はもうかるのか」問題に決着？」(松山市花園町通り)
- 2021 日経クロステック「「減らす」時代の事業評価とは」(松山市花園町通り)
- 2021 「土木の仕事ガイドブック：日常をつくるプロフェッショナル」柴田久 編著 (学芸出版社)
- 2019 「まちを再生する公共デザイン：インフラ・景観・地域戦略をつなぐ思考と実践」
山口敬太・福島秀哉・西村亮彦 編著 (学芸出版社)
- 2019 テレビ朝日系列「渡辺篤史の建もの探訪 (三戸浜の家)」
- 2018 LiVES Vol.99「リビングルーム百景 (三戸浜の家)」
- 2017 新しい建築の楽しさ Case28「松山市花園町通り整備」
- 2015 日経コンストラクション No.608「土木のチカラ (修善寺駅北広場)」
- 2015 運輸と経済 2015年1月号<特集>「遅い交通」遅い交通の再生がもたらす街路の景」
- 2014 日経アーキテクチュア No.1018「次代の変革者100人」

web



instagram



twitter



facebook

